

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
平成30年8月末現在
男 16,529人
女 16,371人
総人口 32,900人
世帯数 13,202世帯

◆茨城町民憲章

- ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の情報発信中!!



●町公式ホームページ

<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



●町公式ツイッター

<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



●町公式インスタグラム

https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.74 セミヤドリガ

(セミヤドリガ科)

学名 *Epipomponia nawai* (Dyar,1904)

写真 深見 泰邦
文 小菅 次男

セミの腹部に白い大きなものが付いていて、一体これは何だろうと不思議に思ったことはありませんか。

▼セミに寄生する蛾

これはセミに寄生する蛾の幼虫です。成虫は開長20mmほどの小型の蛾で、8〜9月に出現します。本州、四国、九州、台湾に分布し、翅は暗黒色で、口は退化し、餌をとらず、おそらくは数日間で一生涯を終えます。

▼処女生殖するメス

本種の確認される成虫はほとんど全てメスなので、処女生殖を考えると考えられています。メスはセミのよく来る木の幹に産卵し、卵で越冬します。翌年ふ化した幼虫はヒグラシなどが近くに止まると、セミ

の体に這い上がり、成長すると体から白色綿状の口分泌物を分泌し体を覆っています。

1匹のセミに多い時は4〜5匹が寄生しています。セミの体液を吸う特別な構造は確認されておらず、どのように吸うのかの詳細は不明です。

▼宿主は主にヒグラシ

なぜか宿主はほとんどがヒグラシです。その理由はセミヤドリガの生息環境にヒグラシが多いことやヒグラシの前胸が幼虫の潜伏に都合の良いつくりになっているからと言われますが、良く分かっていません。また、特にメスに寄生しますが、その理由も不明です。

▼成長の速さには驚き

セミの寿命約1週間の間に1齢から終齢幼虫(5

▼幻のヤドリガ

セミヤドリガの仲間が世界で約40種が知られていますが、日本に生息するのは本種のほか、ハゴロモ類に寄生するハゴロモヤドリガの2種類です。ところが、もう1種が記録されています。ニイニヤドリガとい、1954年に東京都石神井で発見されましたが、それ以後の記録がなく、幻の昆虫と言われています。

ちびっ子アート まさみ幼稚園



「おとまりほいくで
うみあそびしたよ！」
たかやま りんたろう (6歳)

「みんなですいかわり
たのしいな」
ふくだ はんな (5歳)